

富山地区学校再編に関わる保護者説明会 会議録

日時 令和5年12月21日（木）
午後7時から午後7時47分まで
会場 富山中学校体育館

【当日関係者】

検討委員	17人
オブザーバー	2人
参加者	56人
報道	0人
事務局	13人

1 開会

進行 皆さんこんばんは。定刻となりましたので、始めさせていただきます。

本日は大変お忙しい中、また、お疲れのところ御出席をいただき、誠に有難うございます。本日の進行を務めます、教育委員会事務局学校再編整備課長の黒川と申します。よろしくお願いいたします。

説明会に入る前に、お手元に配布いたしました資料の確認をお願いします。

まず、説明会「次第」。

次に、「令和5年度 富山地区学校再編検討委員会 委員名簿」で、A4で両面印刷となっているもの。

次に、本日の「席次表」。

次に、資料1「南房総市立小学校・中学校 児童生徒数 推移見込み（市内全地区）」で、裏面が「中学校別 部活動の実施状況」となっているA3で両面印刷が1枚のもの。

次に、資料2「南房総市立中学校 生徒数・学級数・教員数 推移見込み（富浦地区・富山地区）」で、A3で片面印刷のもの。

次に、資料3「富山地区の中学校再編（案）」で、A4で片面印刷のもの。

配付資料は以上の6種類となります。御確認いただきまして、不足等がございましたら手を挙げていただけますでしょうか。揃ってますでしょうか。よろしいですか。

進行 また、皆様にお願いがございます。声がこもることがありますので、この後、御発言をいただくことがありますが、マスクを取って御発言をお願いいたします。

進行 それでは、ただ今から、富山地区学校再編に関わる保護者説明会を開会いたします。進行は、次第に沿って行います。

2 委員長挨拶

進行 次第の2、委員長挨拶。戸倉委員長、お願いいたします。

委員長 皆様、こんばんは。

本日は、夜分、お疲れのところ、また、年の瀬という慌ただしい中、説明会に御出席いただきまして、誠に有難うございます。

また、検討委員の皆様、そしてオブザーバーの皆様、お疲れ様です。よろしくお願いいたします。

ただ今、紹介をいただきました、委員長の戸倉勝美です。よろしくどうぞ、お願いいたします。

私ども、富山地区学校再編検討委員会は、富山中学校の再編に関し、富山地区の保護者の皆様や地元住民の皆様と情報を共有しながら、意見交換して、委員会内で協議・検討を重ね、富山地区の学校再編に関わる方針をまとめ、その結果を市へ提言するという役割を仰せつかっております。

本日は、子どもたちを取り巻く様々な不安要素を解消して、良質な学校環境を保持するとともに、更に向上させるために、これからどういう選択をすれば良いか、子どもたちの将来にとって最善なのかを、皆様と一緒に考えるために、説明会を開催いたしました。

後ほど、事務局のほうから市全体の中学校の生徒数推移見込み、また、その中で富山中学校が置かれている現状、今は仮としての話なんです、富浦中学校と統合した場合についての説明がございます。説明があった後、皆様から貴重な御意見を頂戴するという段取りとなっておりますので、富山地区の子どもたちのために、忌憚のない御意見をお願い申し上げます。

簡単ではございますが、挨拶と代えさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

3 教育長挨拶

進行 有難うございました。続いて、次第の3、教育長挨拶。三幣教育長から挨拶申し上げます。

教育長 こんにちは。お集まりいただき大変有難うございます。

今、委員長からお話がありましたように、私ども、富山中学校と富浦中学校の統合ということで、それぞれ両地区に再編検討委員会を立ち上げました。

私の想いとする、まだ、この富山中学校の校長をしてから、それ程経っていないという想いもあります。その後、平群小学校と岩井小学校と統合して富山小学校、

更には小中一貫校ということでこういう施設を作って、私の中でも、まだ日が経っていないなという想いがありますけど、児童生徒数の減り方というのは、私どもの予想を大きく上回ることでありまして、今回、富山中学校と富浦中学校の統合ということとを協議していただく運びになります。生徒数が少なくなってきた、皆さんの想いも色々あるかと思いますが、再編検討委員会で富山地区・富浦地区それぞれ協議をいただいて、統合するという方向が決まりましたら、合同で会議を開きまして、学校の位置をどうするか、学校の名前をどうするか、統合の時期をいつにするか、そういったことは、それぞれの地区合同の会議で決めていただく、そのような見通しを持っております。

今日は、富山地区の方向を決めるための、皆さん方の御意見・御質問をいただいて、更に1月に富山地区の皆さん方に、保護者以外の方にお集まりいただいて同じような説明会を開く予定であります。この2つの説明会を経た後、再編検討委員会で協議していただいて、方向をどうするんだということを決めていただくことになります。今日は、その会議の大きな参考となるとと思いますし、私ども教育委員会としてこの後どうしていくかってことも今日、皆さん方から頂いた御意見・御質問受けながら考えて参りたいと思いますので、どうぞ忌憚のないところで御意見・御質問いただければ大変有り難いと思っております。

学校のほうで大きな暖房2台用意していただきましたけど、まだまだ冷え込む状況ですので、十分皆様暖を取りながら、終わりまで参加いただければ大変有り難いと思っております。どうかよろしく願いいたします。

4 委員等紹介

進行 続きまして、次第の4、委員等紹介です。

お配りしてございます、「令和5年度 富山地区学校再編検討委員会 委員名簿」と、「席次表」を御用意ください。本来であれば委員お一人ずつ、お名前を御紹介するところではありますが、速やかに説明に移り、皆様から御意見等を頂戴する時間を長くしたいと考えますので、本日は大変申し訳ございませんが、委員名簿と席次表を御確認いただき、御紹介に替えさせていただきます。御理解のほど、よろしくお願いいたします。

進行 続きまして、次第の5、説明に移ります。ここからは、戸倉委員長に、進行をお願いいたします。

5 説明

委員長 それでは、座ったままで御勘弁願います。それでは次第の5、説明に入ります。

(1) 富山地区の中学校の現状について

(2) 富山地区の中学校再編について

と、ありますが、関連していると思われますので、事務局の方から一括して説明をお願いしたいと思います。

その後、次第の6、質疑・意見交換で、説明に対して質疑・意見、その他聞きたいことなど一括してお聞きしたいと思いますので、それではひとつ、事務局に説明のほう、お願いします。

事務局 それでは次第の5、説明の(1)「富山地区の中学校の現状について」を説明いたします。

資料1の表面「南房総市立小学校・中学校 児童生徒数 推移見込み(市内全地区)」を御覧ください。この表は、令和5年5月1日現在で、学校基本調査を基にして、市内全地区の児童・生徒数の推移見込みを作成したのになります。

表の富山地区の欄を御覧ください。左端の令和5年度、中学計を見ますと、生徒数は100人、右端の令和11年度には90人で10人減少する見込みとなっております。

同様に富浦地区は令和5年度104人が、令和11年度には68人で36人減少。三芳地区は令和5年度88人が、令和11年度には96人で8人増加。令和6年度から統合する白浜・千倉地区は令和5年度235人が、令和11年度には189で46人減少。平成26年度に統合した丸山・和田地区は令和5年度157人が、令和11年度には145人で12人減少となっております。

この表は、あくまで見込み値ですので、今後、転入・転出があった場合は変わることもあります、市全体で出生数は減少傾向にあり、今後もこの状況は続くことが予想されます。

裏面「中学校別 部活動の実施状況」を御覧ください。令和5年度、市内中学校別部活動の状況となります。

各校とも、少人数で切磋琢磨しながら活動していることがわかります。このような状況から、団体競技では単独チームでの参加が困難な部活動もあり、個人戦のみの参加や合同チームで大会に出場するなどしており、先ほど説明した推移見込みのとおりに、今後もこの状況は続くことが予想され、部活によっては、部員数が揃わず休部せざるを得ない部活も出てくる可能性があります。

続きまして、資料2の表面「南房総市立中学校 生徒数・学級数・教員数 推移見込み(富浦地区・富山地区)」を御覧ください。この表は先ほど御説明させていただいた資料に、学級数・教員数を追加し、現状の理解を深めていただくために作成したのになります。

富山中学校の2段目、通常学級数(弾力)の欄を御覧ください。国の基準によりますと、40人学級を標準としておりますが、現在、千葉県の弾力的運用により、1年

生を35人学級、2年生、3年生を38人学級として運用しております。

現在、各学年1クラス編成であり、2クラス編成が可能な時期もありますが、おおよそ1クラス編成が続くことが見込まれております。

次に、富浦中学校の2段目、通常学級数（弾力）の欄を御覧ください。同様に2クラス編成が可能な時期もありますが、おおよそ1クラス編成が続くことが見込まれております。

次に、統合した場合の2段目、通常学級数（弾力）の欄を御覧ください。令和15年度から各学年1クラス編成となる見込みではありますが、それまでは2クラス編成、3クラス編成が可能となります。

次に教員の配置数ですが、富山中学校の1番下の段、正規の教員数の欄を御覧ください。令和5年度は10名となっており、そのほかに臨時的任用講師が1名、会計年度任用職員として、体育・技術・美術の教科担任講師が3名おります。

次に、富浦中学校ですが、正規の教員数は11名となっており、そのほかに会計年度任用職員として、美術の教科担任講師が1名おります。

次に、統合した場合ですが、学級数が増えることにより、教員の配置数も増加した配置となります。教員数が少なくなると、経験、教科などの面でバランスのとれた配置が行いにくくなり、増加した場合、教員同士で相談・研究・協力・切磋琢磨などを行うことができるようになります。

続きまして、説明の（2）「富山地区の中学校再編について」を説明いたします。資料3の「富山地区の中学校再編（案）」を御覧ください。

1番の市の再編（案）ですが、市では、富山中学校と富浦中学校の統合を再編（案）として考えております。富山中学校と富浦中学校を統合することについては、令和5年11月14日に富山地区学校再編検討委員会を立上げ、これから、統合するか、しないかについて、協議・検討をしていただきます。

次に、2番の富浦中学校との統合の理由ですが、アからカまでの6項目を記載しています。

ア 生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていくためには、統合により、生徒数を確保することが望ましいと考えられるため。

イ 富山中学校は、現在、各学年1クラスだが、統合することにより、2クラス又は3クラスの学級編制ができ、クラス同士が切磋琢磨する教育活動や、クラス替えが可能となるため。

ウ 学級数が少ないと、配置される教員も少なくなり、教育活動に制約が生じつつあるが、統合することによって教員の配置数を確保でき、より良い教育環境を提供できるようになるため。

エ 生徒数の減少により部活動の実施が厳しくなっているが、統合することによっ

て充実した部活動が実施できるため。

オ 富山地区及び富浦地区の遠方から、30分程度でスクールバス通学が可能であるため。これはどちらかの校舎を使用した場合であり、あくまで参考となります。

カ 三芳地区を含めた内房地区全体として検討をすると、かなりの広範囲となること及び三芳地区の生徒数は当面の間は現状を維持することから、三芳地区は除いて検討を行うため。

以上の理由から、市では、富山中学校と富浦中学校の統合を考えております。

最後に、3番の学校の再編時期、学校の位置、学校の名称についてですが、条例・規則等の改正を伴う重要事項となります。この3項目については、富山地区・富浦地区、それぞれの学校再編検討委員会で富山中学校と富浦中学校を統合するという方向でまとまりましたら、富山地区・富浦地区学校再編検討委員会合同会議を開催し、その中で協議・検討していただくことを考えております。

以上で説明を終わります。

6 質疑・意見交換

委員長 説明が終わりました。それでは、次第の6、質疑・意見交換に移りたいと思います。

ただ今の説明に対して、御質問・御意見やその他、聞きたいことがある方は、挙手をお願いいたします。事務局がマイクをお持ちしますので、自席にてお待ちください。マイクが届きましたら、お名前を述べてから、御発言をお願いします。

最初に事務局のほうから言葉がありました通り、声がこもるということもありますので、マスクを取っていただけたらと思います。どんなことでも結構ですので、御質問・御意見等ありました挙手をお願いいたします。

どなたか質問ございますでしょうか。はい、どうぞ。

保護者 どうも、こんばんは。ご苦労様です。よろしくお願いします。

質問というか、昭和の40年代に平群と岩井、あるいはここの市とかが合併した時には、それでも3クラスくらいは編成できるような枠組みを持って、まあ、120くらいで。教育をするうえで適正な人数っていうんですかね、教育的な観点から、まずどのくらいの人数で、再編をしてきても違うのかということを一点お伺いしたいというのと、合併ということなんですけども、枠組みとか通学範囲とかそういったことは一旦、度外視した中で、この資料2を見ますと、令和11年には既に1年生が40人になるというような資料が出ているわけで、そうしますと、もうまた2年、3年後には、またこういった合併の話がまた進めていかなくてはいけないのかな、というように考えられるんですけど。後手後手なような感じがしまして、もう少し先を見た合併を考えたらどうかなと思います。

それから市内に限らずですね、組合立といった、例えば鋸南とか、館山市とかとの

合併というのは考えられないのでしょうか。以上です。

委員長 有難うございます。ただいまの質疑に関して、事務局のほうから回答をお願いしたいと思います。

教育長 まず、1件目の学校全体の人数、規模ということだと思いますけど、何人が一番効果的ということの事象というか、研究はなされておられません。私ども今考えますが、あんまり人数が多くても、これは色々問題がある。400人、500人、600人、そういう中学校もありますけど、これは多いがゆえにいろんな問題が出てきます。

私ども今、南房総市は、与えられる条件としましては、学年単学級、3学級の規模はできるだけ解消したいという想いを持っております。それは先ほど説明でもありましたけど、教員の配置が非常に少なくなってきました。さっきの資料で御覧いただきましたように、今年度富山中学校は正規の教員は10人であります。で、9教科が展開されるわけですけど、今、富山中学校校長も多分、来年度どうするかっていうことで悩んでいると思います。何を悩んでいるかと言いますと、9教科ある中で、どの教科に何人の教員を配置しようか。9教科ですので各教科一人ずつということになりますと、一人、1教科だけ重なるわけですけど、そういう中で、例えば、国語を2人の教員にしようとか、数学を2人にしようとか、英語を2人にしようとか、今、非常に悩んでると思います。学年1学級で、全体で3学級ということになりますと、教員の配置自体で非常に苦しい状況になります。ですから、これをなんとか解消したい。そういう想いがあります。人数とはちょっと離れますけど、人数に従って学級数決まってくるんですけど、今の私どもの置かれた状況ですと、学年単学級はできるだけ避けたい。

もう一つは、この先も人数が減っていくから、その先を見込んでということになりますけど、私ども今考えて、富浦中学校と富山中学校考えましたのは、これなら通学可能な、それほど、生徒の方に時間とかそういったもので負担をかけないで、新しい中学校ということを考えられるかなと想定しています。それよりも少なくなったらどうするんだ、ということになってきますけど、更に通学範囲を広げますと、通学する時間が非常にかかってくるということで、端的に言いますと、中学校の学区を超えて、高校の学区にまで広がってくるわけですね。今私ども、片道15km程度、あるいはバスに乗って行けば30分程度でということ考えていますけど、これが更に時間がかかってきて、そうしますと果たして、人数を優先するのか、通学の負担とかそういうものを優先するのか、そういう難しい判断になってくるかなと思っております。従いまして、今私どもが取り組んでいますのは、それ程生徒に負担をかけない範囲での統合ということで考えています。繰り返しになりますが、また10年、15年経った場合については、生徒数の問題と、もう一つは通学の負担、そういったも

のを勘案しながら、どういう選択肢を取っていくかということを考える時期が来ることになるかと思います。

もう一点、組合立ということですが、これは現在でも夷隅の方、御宿、あちらの方で組合立ということで、2つの町あるいは市と一緒に学校を作っております。私も今、これも想定するわけですが、現在の近隣の財政状況を考えますと、あるいは、教育にかかる経費を考えますと、例えば館山市と一緒に、鋸南町と一緒にした場合、私どもが今教育にかけている経費を同じように出してもらえるのか。これはちょっと難しい状況があるかと思います。具体的に申し上げれば、私どもの学校はカラーコピー、カラー印刷もかなり自由にやっております。隣になってきますと、館山市はカラーの印刷物は出しづらい状況にあります。これは一面ですけど、そんな風に教育にかかる経費も違ってありますので、今の財政状況のところで、市を超えた、あるいは2つの市で組合立という学校を作っていくのは、無理だ、というふうに私どもは判断しております。

お答えに漏れがありましたら、御指摘いただければと思います。

保護者 すいません。今、教育長のお答えの中でも、やはり数年後にはもう一度考える時期が、もう一度来るという回答だったと思うんですけど。そこがもう、すぐ目の前に来てるんじゃないかなっていう。なんかまた同じような、もうここが、今回やるのが最終のところなのか、やっぱりもう一回、どこかでやらなければいけない時期が来るといようなお話にも、あったように聞こえたんですが、その点について、最終段階はその次の、通学の時間ということも考える時期が来るといようなことで、やっぱり考える時期が来るんじゃないかというふうに受け取ったんですが。

教育長 統合しなくてはいけない時期が来るということではなくて、統合を選ぶのか、あるいは少人数の学校でこのまま学校教育をやっていくのか、そういう判断をする時期が来るかな、と考えます。

例えばですね、白浜中学校と千倉中学校が統合して、来年4月から南房総中学校としてスタートします。外房地区には、和田中と丸山中が統合した嶺南中学校がありますけど、人数が少なくなってきたから、それだけのことで、人数だけでその二つの外房の中学校を統合することになりますと、先ほど申しあげましたように、通学時間が非常に、今より長くなります。果たしてこれが、学校運営していく、あるいは生徒が中学校生活を送るうえで、負担にならないか、そういうようなことを、統合ということのを合わせて考える時期が来るのではないか、そんな風に考えています。ですから、繰り返しになりますけど、必ず統合を思考して、統合しなくてはいけない、そういう方向性で議論する時が来るのではない、かな。ちょっとややこしいですけど。生徒に負担がかかっても、生徒数を多い学校を選ぶのか、あるいはそうではなくて、生徒の

負担をそんなに多くしないで、少ない人数で何ができるか考えていくとか、そういうような決断が、選択の時期は来ると思います。統合の時期が来るとは考えておりません。

保護者 ですと、今回のこの統合のことについても、同じようなことなのではなのかなと。正直に言えばどうなのかな、という状態も含めてというか、実際。

教育長 仰る通りで、これからの協議の中で、富山地区が現在の規模のままで、これからも行こう、これから生徒数が更に減ってくることが想定されるわけですけど、その中でも、この規模で、この人数の少ない中で富山中学校の教育を求めている、という結論が出れば、私どもそれには従うと言いますか、受け止めて参りたいと思います。

ただ、私どもとすると、それほど生徒に通学の負担とかそういうのをかけないで統合する見通しがあるので、統合を検討していただきたいということで、お願いしております。

委員長 よろしいでしょうか。

よろしければ、次の質問のある方いらっしゃいますでしょうか。何か心配なこと、何でも良いですから、どなたかいらっしゃいましたらどうぞ。

はい、どうぞ。

保護者 今、聞いて、本当に、合併に賛成の考えなんですけども、あくまで、富山の学校になるのか富浦になるのかは決まっていってところだと理解したので、富浦になるとちょっと遠いし、この地域でまた子どもに学校に行って欲しいっていう思いがあります。その辺の、今既存の建物でどちらかにするのか、また新たに別に中学校を建てるのかとか、そういうところは何か話が出ているんでしょうか。

あと、今日説明会があつて、1月に保護者でない一般の方に説明会があつて、その後どういうスケジュール感で、どういう時期で設定して、最終的に統合を目指してるスケジュール感などが、もし今の時点で何かありましたら教えてください。

教育長 学校の位置ですけど、一番、関心のあることのひとつだと思います。これについては先ほど申し上げましたように、両地区で統合するという方向性が出た後で、合同会議を開く予定であります。合同会議の中で、通学の時間ですね、あるいはその他のいろんな条件を検討しながら、私どもの方で、合同会議の中で提案していきたいと思います。その折には、また再編検討委員の皆様には御意見いただきますし、再編検討委員会の方でもう一回、最終チェックする前に、皆さん方の説明会ですか、あるいは御意見いただく機会を、つてことでしたら、そういう機会を設けることでやっていく

いと思っております。

従いまして、2つ目の質問の方のスケジュール感ですけど、今考えておりますのは、来年1月、年明けまして1月に今お話がありましたように、もう一回説明会を開きます。それで、今日と1月の説明会を経て、再編検討委員の皆さんに協議していただきます。その後の再編検討委員会で、1回で方向性が出れば、その後は富浦地区の状況を待って合同会議ということになります。再編検討委員会で、結論が1回で出ないとすれば2回、3回、そうやって会議を重ねていくことになると思います。これは富浦地区も同様ですので、どちらかが早く、結論、方向性が決まったとしても、もう一方を待つことになると思いますので、スケジュール感としては、これを言うとまた、それを目指してる感じになりますけど、決して私ども、急ぐつもりはないんです。丁寧に議論していただきたいと思っておりますけど、最低、協議していく中で2年間は、要するに今までの経験からしても、2年間はかかるのかな。更には、その後いろんな準備とかそういうのがありますんで、更にはもう1年くらいはかかるのかな。ですから、早くても統合中学校ということでスタートするのには、3年くらいかかるのかな。あるいはそれ以上かかるのかなっていう、そんな見通しは持っています。ただ、白浜・千倉のように、間にコロナで会議が出来ないとか、そういった状況になりますとまた、更に伸びていくことになると思います。

お答えになったかどうかあれですけど、御理解いただきたいのは決して、急ぐ考えはないってことだけは御理解いただければと思います。

保護者 有難うございました。

委員長 よろしいですか。他にある方いらっしゃいますか。
どうぞ。

保護者 富山中学校合併というところで、小学校は合併には至っていないんですけども、やはり小学校6年生が、例えば次の中学校に行くとなると、例えば富山地区になった場合富浦小学校6年生、富浦地区に合併先が決まった場合富山小学校の6年生が、次年度は合併した中学校に行くわけですけども、その辺で、やっぱりその、子どもたちが違う子と接するわけですので、そういった子どもたちの負担、気持ちの面で、子どもの負担の方を考えると、小学校は他の地区で、中学校からということで、その辺の子どもたちの気持ちというのは、今後は気持ちを汲んでいくことは可能なのでしょうか。

教育長 現在、白浜小学校と千倉小学校では、5年度に入ってから時々、両小学校が交代で訪れたりとか、あるいは一緒に活動をしたりとか、そういうことで交流ですか、そう

いうものは深めて、あるいは重ねております。和田中学校と丸山中学校統合した時に4つの小学校ありましたけど、これについても4つの小学校がそういうような行事、あるいは活動を重ねていく中で中学校生活を迎えていますので、もし、富山中学校と富浦中学校と一緒に統合した時についても、小学校段階からそういう交流は重ねていく考えております。

保護者 有難うございます。

委員長 どなたかいらっしゃいますか。どうぞ。

保護者 ちょっとあの、質問する先が、南房総市の教育委員会さんにはならないと思うんですけど、ひとつは、小中一貫校という形で、小学校と中学校が統合してやるような形になっているんですけども、都市部の方に行きますと、どちらかという小中とか、中高一貫校というですね、県立の方の関係になってしまうんですけども、そういったもので、安房郡市全体で、県立で作っていくとかっていう考えはあるんでしょうか。いかがなものかなと思うんですが。

教育長 これは、非常に、県立高校との、ということで、難しい面もございます。例えば、一番可能性がある、あるいは早いのは、安房西高校が私立ですので、独自の判断が出来ますので、安房西高校が中学校を併設するというのが一番早いかなと思います。ただ、これは安房西高校が独自に判断、考えていることですので、私では何とも言えません。

県立については、要望はするところはあるわけですけど、千葉市の方、あるいは東葛部ですね、東京に近い方には県立の中高一貫校があります。ですから、南のほうにという要望はしているところではありますけど、これは中々県の方も、生徒数少なくなっている中で、中々前向きには考えてもらえないのが状況です。ただ、私ども今進めていますのは、高校と、市・町との連携を強めていこうということでは、今、話し合いを詰めていますので、中高一貫校にはなりませんけど、小中学校の教育の考え方も十分踏まえて、高校も指導にあたって欲しいといったところは、今協議を進めていることではあります。

委員長 よろしいでしょうか。

他に何か御意見ございますでしょうか。はい、どうぞ。

保護者 今回こういった説明会があるんですけども、別の段階でこうやって聞く機会というのが他にあるのかどうかというのと、諸事情によって参加されていない方等もある

んですけど、そういった方とかの意見とかってというのは、聞ける機会というのがあったりするのでしょうか。

教育長 これは、今日の会もそうですけど、再編検討委員の方で説明会をということで、まず保護者、地域の方ということで開いておりますので、今後も再編検討委員会で協議を進めていく中で、再編検討委員会の皆さんのほうから、ここでこういう内容について協議していきたいけど、もう一回説明会をというようなお話があれば、事務局の私どもとしてはこういうのを設けていきたいと思います。

また、再編検討委員会の皆さん方と相談しまして、今日参加されてない方々に、今日、保護者の皆様でするので、小学校・中学校の子どもたちを通して、今日配布した資料とか、あるいは今日出た意見とか、質問とかそういうものについて配ることについては、私ども、再編検討委員会の皆さん方の意向を受けましてやっていきたいと思います。

委員長 よろしいでしょうか。

どなたか、他にございますでしょうか。

《しばらくの間》

委員長 特に無いようですので、質疑・意見交換を終えたいと思いますがいかがでしょうか。

《しばらくの間》

委員長 それでは、終了したいと思います。後日、何かお気づきになった点、もっと知りたい点などがあれば、先ほど説明ありましたとおり、来年1月25日に開催予定の地元説明会というのがここがございますので、是非、ここに御出席いただいて、そこで意見を述べていただきたいと思います。それから、もしお急ぎでしたら、直接、事務局のほうへお問い合わせいただけてください。そうすれば、何処でも対応できると思います。

本日、皆さんから頂戴をいたしました御意見等は、今後の富山地区学校再編検討委員会の協議・検討の際に参考とさせていただきます。

それでは、次第の6、質疑・意見交換を終わりたいと思います。大変、御苦勞様でございました。では、進行のほうを事務局のほうにお願いします。

7 閉会

進行 戸倉委員長、進行ありがとうございます。

本日、聞き漏らした点や。後日、お気づきになった点などがございましたら、事務局の学校再編整備課、電話番号が、46の2962。もう一度申し上げます、46の2962までお問い合わせください。

また、今後の富山地区学校再編検討委員会の協議・検討内容は、市ホームページで逐次公開いたしますので、御確認をお願いいたします。

それでは以上をもちまして、富山地区学校再編に関わる保護者説明会を閉会いたします。御協力有難うございました。